

いちよう「学校だより2月号」〈第63号〉”生き生きと学び合う学校”

＜教育目標＞

考える生徒
やりぬく生徒
助け合う生徒

栃木市立藤岡第一中学校 電話(62)2598
栃木県栃木市藤岡町藤岡10
平成28年2月15日発行 文責：高野昌二

【ふるさと学習(1年)】

12月8日(火)に、藤岡歴史民俗資料館と藤岡図書館、渡良瀬遊水地において1年生の「ふるさと学習」が行われました。それぞれ希望する場所に分かれ、「ふるさと」藤岡について、担当の方から説明を受けたり、調べたりしました。調べたことを学校に持ち帰り教室でまとめ、現在は廊下に展示してあります。地図などを使い工夫してまとめてありますので、生徒達がまとめを家に持ち帰りましたら、是非読んでみてください。



【学校説明会】

12月10日(木)に藤岡小、赤麻小、三鴨小の6年生の児童・保護者を対象に、本校多目的室において学校説明会を行いました。どの児童も中学生になることに、期待に胸を膨らませ、食い入るように説明を聞いていました。生徒会の役員生徒の説明には、来年度から始まる中学校生活を想像しながら、目を輝かせて聞いていた姿が印象的でした。4月の入学式が楽しみです。



【薬物乱用防止教室(2年)】

11月10日(火)、2年生を対象に、保護者の方にも参加していただき、薬剤師の先生をお迎えして薬物の正しい使用や、間違った使用の恐ろしさについて講話をいただきました。わかりやすく、ときにはユーモアを交えて、お話ししていただき、生徒達も興味津々に聞いていました。お話を聞きながら、子ども達を守るためにも、大人が薬物乱用の恐ろしさを十分に知り、絶対に有害な薬物には手を出さない、薬物は正しい使い方をすることが大切であることを改めて痛感しました。



【人権学習会】

12月2日(水)に人権擁護委員の方々をお招きし、福祉協議会支所長様から講話をいただきました。その後、代表生徒による高齢者疑似体験を実施し、高齢者の日常生活の不便さを身を以て体験しました。体験をした生徒達は「今まで以上に高齢者や障害のある方々へ寄り添う行動がとれるようになりたい」と感想を述べていました。この体験を通し、「高齢者や障害を持つ人たちに優しい町づくり」に貢献できる生徒達になることを願っています。



【学力向上「見せ合う授業」】



12月11日（金）に萩原先生の音楽、12月15日（火）に柴田先生の英語の研究授業が行われました。市の教育委員会や一中学区の小学校から多くの先生方に参観していただき、昨年11月の学校としての研究発表会終了後、年1回全員が行う公開研究授業も二人の先生方で最後となりました。本年度の発表は終わりましたが、更に「分かる授業」を目指して研究はこれからも続けていきます。



学力アップコーナー



藤岡一中学区公開授業研究会

「市内の先生達が授業を参観し、授業改善を目指す！」



昨年の10月15日（木）には藤岡小、赤麻小、三嶋小で、11月17日（火）には藤岡一中で、公開授業研究会が行われました。市内の小中学校の先生達も加わり、授業を参観した後、より良い授業づくりのための話し合いをしました。

小中の先生達が活発に意見交換を行い、9年間のつながりと見通しを意識した指導の大切さと、そのためのヒントに、たくさん気付くことができました。そして、自分の目の前の子供達も、安心して、自信をもって、意欲的に学び合える授業作りをしていこうとする思いを、

新たにすることができました。



【中3数学基礎コース】



【中3数学応用コース】



【中2保健体育】



【中1英語】

【参加した先生達の振り返りカードより】

- 「安心感」「自信」「意欲」が、生徒達からとてもよく伝わってきた授業でした。相談できる雰囲気作りと、自信を持って発言できるようにする支援や声かけが、とても参考になりました。
- 小6で学習する「拡大図と縮図」や「比」の単元が、中3でこの様な形で復習されるとは驚きました。やはり算数は積み重ねなので、小6の学習がどのように先につながっていくのか、中学校での学習を小学校の教師が理解して、子ども達に学ばせることが大切だと感じました。
- 「できる」「できない」がはっきりと分かれる体育の授業において、スモールステップの指導や、様々なレベルの生徒にあった練習場所を準備することが、いかに大切かを見せていただきました。小学校でも同様の数種類のマットがあるので、ぜひ活用していきたいです。
- 昨年の6年生が、楽しく学習している様子を拝見して安心しました。小学校の外国語活動でも、中学校の様に英語にもっと触れることが大切だと感じました。英語への興味・関心が、中学校での学習の基礎となるように指導していきたいです。